2011年（平成23年）9月20日（火曜日）
（NO, 10883）
赤口（旧 8月23日）
夕刊 矢祭
夕刊矢祭新聞社　日刊（日曜・祭日・第二・第四土曜休刊）　月額1,000円
矢祭町東舘字桃木町42-2　発行人　菊池正典　☎46-3508　昭和57年12月6日第3種郵便物認可

いつまでも元気で長寿を

矢祭町敬老会

七十五歳以上を招き祝福

大森、冨永さんに総理百歳祝状伝達

　平成二十三年度矢祭町敬老会は、十八日午前九時半からユーパル矢祭において七十五歳以上の千三百五人（男四百九十人・女八百十五人）を招いて盛大に挙行した。また東日本大震災で矢祭町に避難している七十五歳以上十五人（ユーアイホーム三人、ユーハイム十二人）も招待した。

　式典は古張允町長が敬意と祝福を述べ挨拶し、今年度百歳を達成または迎えるユーアイホーム入所の大森秀男さん（四月二十二日）と冨永登さん（十一月十五日）に内閣総理大臣からの百歳高齢者祝状及び記念品贈呈を伝達した。

　大森さんは長男の靖さん、冨永さんはユーアイホーム施設長が代理で出席し受賞した。

　次に今年度八十歳（傘寿）になった八十九人を代表し東館の石川フミヱさんに敬老祝金（現金五千円）と祝詞を贈呈した。

　しあわせ金婚夫婦十八組を代表して内川字真木野の菊池一雄・みゑ子さんを表彰し、立原龍一県議、富永盛彦議会議長が来賓祝辞を述べ、祝電披露が行われた。

　下関河内小学校一年の尾亦良心くん、六年の本田龍大くんが「おじいちゃん・おばあちゃん」をテーマに作文を朗読、佐川桑雄町老人クラブ連合会長お礼のことばで閉会した。

　アトラクションは式典前にＪＡ矢祭大正琴クラブ会員が演奏、式典後は腹話術師わがしによる「わくわくドキドキ腹話術」公演、花見秀一棚倉署東館駐在所長の「高齢者被害の振り込め詐欺防止対策について」講話、町文化団体の矢祭民謡愛好会、矢祭歌謡クラブ、矢祭詩吟会、カトレアフラの会、ハーモニーやまつりの五団体が民謡、歌謡曲、詩吟、フラダンス、合唱の歌やフラ踊りを発表し参加者を楽しませた。

あす献血バス　二ケ所で受付

　県赤十字血液センターの献血バスは、あす二十一日来町し、午前八時三十分から十二時までユーパル駐車場、午後一時三十分から五時まで町役場前駐車場において献血協力を受付ける。血液はガン、脳卒中、心臓病、生活習慣病等の増大により慢性的に不足しているので「愛の献血」にご協力をと呼びかけている。

矢祭町の米　安全を確認

放射性物質検出されず

　矢祭町産の米の放射性物質調査は、九月五日に予備調査、九月十六日に本調査を実施した結果、いずれの調査でも放射性物質は検出されなかった。十七日夕方から出荷や販売、贈答など流通可能となり、町では古張町長直筆サインによる安全を証明するチラシを作成し役場窓口で希望の生産者に配布している。

大きなゴミから、小さなゴミ
ゴミの事なら、どんな事でもお任せ下さい。
引越しも引き受けます。
引越しに出るゴミは半値で引き受けます。
フリーダイヤル0120-538-557
ゴミヤヘ ゴーゴーセブン
家電リサイクル取扱店
守丸興業（株）　TEL33-8655　FAX36-4617

御会葬御礼

亡父　大高幸寿儀

葬儀に際しましては御多忙中にもかかわらず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御香料を賜りご厚志の程誠に有難く厚く御礼申し上げます

早速拝趨のうえご挨拶申し上げるべき処略儀ながら紙上を以て御礼申し上げます

平成二十三年九月十八日

矢祭町大字下石井字上川原五二番地
喪主　大高常矢
外　親戚一同

御喪家（そうか）と同様のこころをもって
ご葬儀のお手伝いをいたします
家族葬・自宅葬等　自宅及び東白斎苑等の公設場所による葬儀施行
病院～自宅迄の搬送等　花環・生花・盛り籠・返礼品
さわや
☎46-2033（夜間も同様）

これからの新しい選択肢「第3のエコカー」まもなくデビュー!!
新燃費測定モード
JC08モード走行燃費*
30.0km/ℓ ※2
（国土交通省審査値）（2WD車予定値）
10・15モード走行燃費
32.0km/ℓ ※2
（国土交通省審査値）（2WD車予定値）
*JC08モード走行は10・15モード走行に比べ、より実際の走行に近くなるよう新たに設けられた試験方法で、一般的に燃料消費率はやや低い値になります。
低燃費で省資源。
「ecoでSmart」な新スモール
2011年9月末発売予定
お客様満足度No.1を目指す!!
ダイハツ東白川
㈲芳賀モーター商会
東白川郡塙町大字上石井字花畑7 TEL(0247)43-0040

美しい自然に培われた
伝統の名酒
南郷（ナンゴウ）
合名会社　藤井酒造店
東白川郡矢祭町戸塚
☎0247㊻3101㈹

第三回 手づくり絵本コンクール

両部門に七十四人が応募

第一次審査会で４０点を選出

　第三回矢祭町「もったいない図書館」手づくり絵本コンクール第一次審査会は、十七日町中央公民館で開いた。

　今回は一般の部に十九都府県から四十人、家族の部に五県から三十四人が応募しあった。

　第一次審査員には読書の街づくり実行委員長の富永盛彦議長、佐川二亮家読推進プロジェクト代表や実行委員、推進委員、子ども司書受講生ら十四人を委嘱し一冊一冊を慎重な審査にあたり、集計のあと一般の部二十点、家族の部二十点の第二次審査候補を選出した。

　第二次審査は十月二十二日にノンフィクション作家の柳田邦男氏、絵本作家のあべ弘士氏らにより実施し入賞者を最終決定する。

　入賞作品は十月二十三日から十二月十日まで、もったいない図書館（町文化祭期間はユーパル矢祭）に展示し、表彰状授与式は十二月十八日ユーパル矢祭で開催する。

奥久慈文化研究会 二十四日

　奥久慈文化研究会は、二十四日午後二時から町中央公民館で第三十回大会を開催する。毎年夏又は初秋に矢祭町で開いてきた同研究会は、今年三十回記念となり広く参加者を募集している。今回は白井宏明氏、紙谷威廣氏、菊池健策氏が八槻都々古別神社の「おます回し」などについて発表し、千年に一度といわれる東日本大震災で歴史上の関心が高まった千年前の大地震記録についても研究する。

　誰でも気軽に参加できるので、ご希望の方は宝坂、片野宗和さんまで連絡をと呼びかけている。

（☎四六ー三八四〇）

◎環境放射能測定値（矢祭町役場地内）

▼二十日午前九時三十分＝０・１１マイクロシーベルト。

▼町文化祭打ち合せ会は、あす二十一日午後一時三十分から町中央公民館で開く。

▼矢祭町短歌会は、あす二十一日午後一時から町中央公民館で開く。

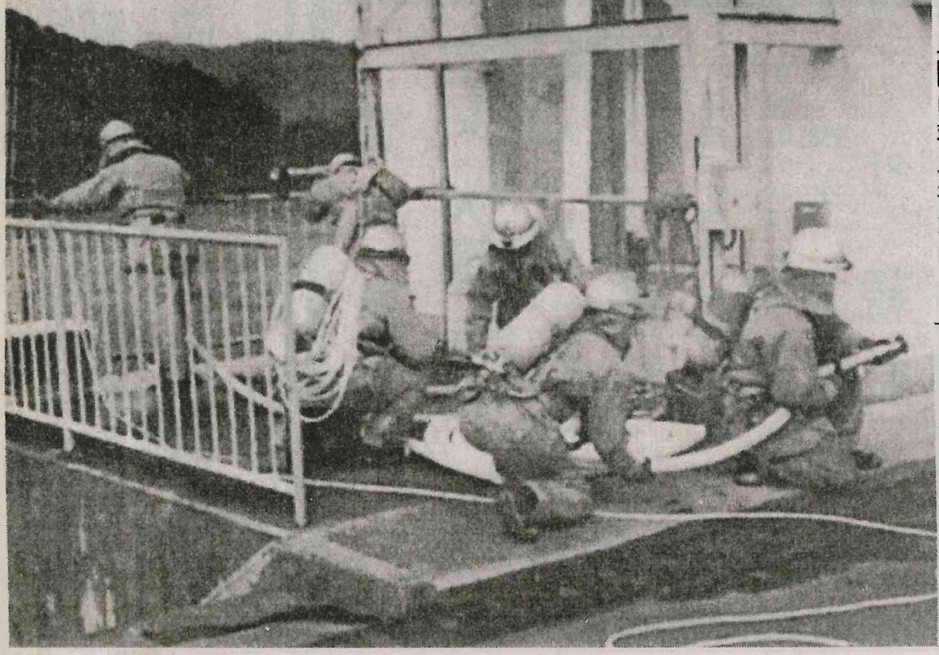
棚倉消防署で警防技術研究

火災防御訓練実施

　棚倉消防署・塙分署・矢祭分署・鮫川分署の警防技術研究火災防御訓練は、十五日棚倉消防署屋外訓練場周辺において、本署・三分署から車両五台・二十三人が参加して開いた。

　各隊員の任務分担の自覚と応用的連携動作及び機械器具操作技術等の向上を目的とし、本署・三分署合同により、建物火災で要救助者二名ありを想定し、救助活動及び火災防御活動を実放水で行った。

　緑川貫一署長が訓練本部長、深谷良太郎次長が訓練総指揮者となって訓練を開始し、通報を受けた署員たちが、五台の車両で発生現場である訓練棟に向かい、ホース延長から放水までの動きや操作を迅速に行った。救助は二階と三階に救助者がいることを想定し、三連梯子・エンジンカッターなどを使用して部屋に進入、要救助者を屋外の安全な場所に救出するまでの訓練を実施した。参加隊員らは連携をより一層深め、迅速で確実な消火・救助活動を再確認し合った。



— 感　謝　の　心 —

家族葬・一般葬・社葬等あらゆるご葬儀に対応

事前相談やお見積りは無料です
詳しい資料がほしい方、ご連絡下さい
係りがお伺いいたします

もしもの時は
永遠（とわ）の会がお役に立ちます

お約束　どこにも負けない豪華な葬儀
どこにも真似の出来ない低価格

あなたの街のメモリアルホール

大国屋塙斎場

葬祭の 株式会社大国屋

塙町桜木町１９８－３
☎４３－０１２２(代)

daikokuya
daikokuya. co

ＪＡ斎苑　やすらぎの杜

ご葬儀に関するすべてのご相談・お見積は無料です。
お気軽にお問い合せ下さい。

３６５日　２４時間受付致します
霊柩車・２４時間病院～自宅まで
℡０２４７－３３－１０５９

棚倉町大字塚原字上野越（１１８号バイパス沿い）

家族葬・一般葬・社葬・自宅葬・お通夜会場・法要会場・法事

安心と信頼のサービス
総合葬祭『ＪＡやすらぎの会』
随時・会員募集中

（株）ＪＡ斎苑 やすらぎの杜 棚倉斎場

駐車場ゆったり１２０台収容完備

ゴミ 処分のことなら
ナスクリーン
☎４３-４３３３

小さなゴミから家一軒丸ごとまで
倉庫、物置の整理　引っ越し
別荘、空家・空地の管理
なんでもおまかせください。

塙町大町３－３７－１
ナスクリーン有限会社

ボディバランス 丸屋

辛い肩こり、腰痛
座骨神経痛でおこまりの貴方へ
だる重な体で頑張る貴方へ

疲れを徹底的にほぐす！本気の手！！です

予約優先
℡0247-43-0118
営業時間9：00～20：00
【定休日】水曜日
塙町本町３０（白河信用金庫塙支店様前）